


資料編

県総合体育センター体育館(本館)について

体育振興を通じて県民の体格の向上、青少年の健全な育成を期するための場として、昭和35年10月竣工

施設概要	○競技スペース部分 1,320㎡ [バスケットボール2面 バレーボール2面, 卓球24台 etc ○観覧席 1,739席 ○最大収容人員 4,400人		利用状況 (平成28年度) ①年間利用者数 123,213人 ②年間開館日数 359日 ③年間稼働日数 324日 ④稼働率(③/②) 90%	
	(平成28年度)			
利用形態	スポーツ	①国際・全国規模の大会	0日	— (実績なし)
		②全県規模の大会	74日	23% 各種競技団体等が主催する県大会等
		③スポーツ興行 <small>(※入場料を徴収し開催)</small>	11日	3% Bリーグ レブナイズ公式戦
		④その他(上記①, ②, ③以外)	236日	73% 一般利用, 各種競技教室等
		⑤スポーツ以外	3日	1% 鹿児島大学入学式・卒業式, 県戦没者追悼式
利用の特徴	①全県規模のスポーツ大会の会場として、一番の受け皿となっている。			
	②コート数や観客席が少なく、大会によっては他会場も併用して開催。(国際・全国規模の大会の会場としては狭隘。)			
	③スポーツでの利用、特に県内のアマチュアスポーツでの利用が大半。スポーツ以外での利用は限定的。			

鹿児島県総合体育センター体育館の概要

現在の体育館は、体育振興を通じて県民の体格の向上、青少年の健全な育成を期するための場として、昭和35年10月に竣工した。

その後、研修室が東京オリンピック記念スポーツ施設建設資金から500万円の補助を受け総工費1,019万円で昭和42年7月に完成し、さらに第27回国民体育大会(太陽国体)の体操会場としての補助体育館が工費1,266万円で昭和47年10月に完成した。

(1) 施設概要(全体)

所在地	鹿児島市下荒田四丁目47番1号
敷地面積	9,931.72㎡
建築面積	3,943.18㎡
延床面積	6,517.13㎡
構造・竣工	○本館 鉄骨鉄筋コンクリート造地上3階地下1階建 昭和35年10月竣工 ○研修室 鉄筋コンクリート造2階建 昭和42年7月竣工 ○補助体育館 鉄骨造平屋建 昭和47年10月竣工
総工費	155,000千円
駐車場	101台
開館時間	8:30~21:00
休館日	毎週火曜日(指定管理者において火曜日も開場), 12/29~1/3

(2) 施設概要 (個別)

○本館 5,677.42㎡

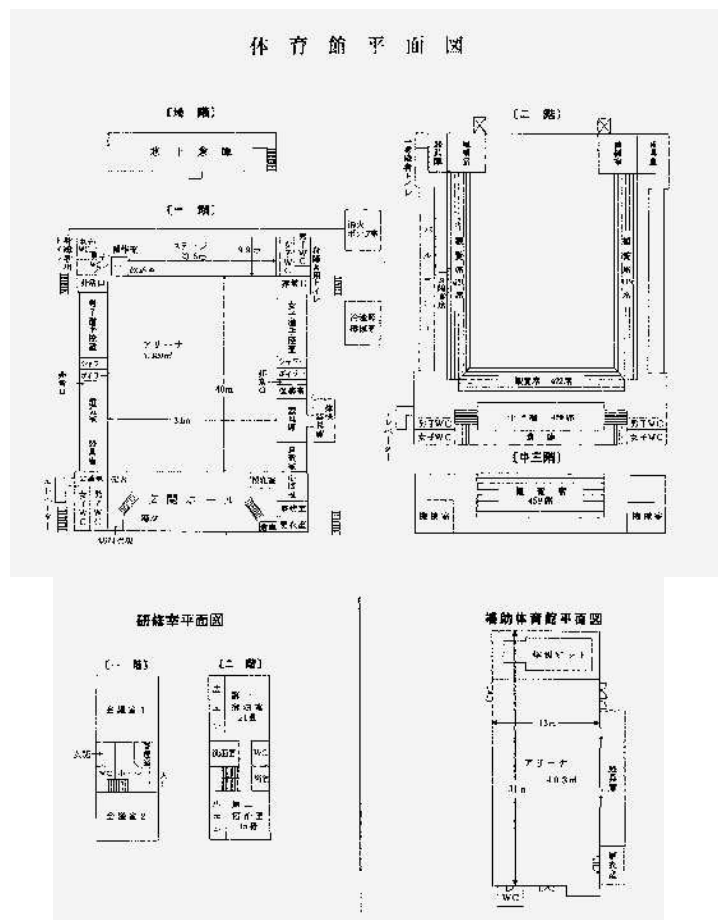
階	施設名	面積	内容
地階	倉庫	264.78㎡	
1階	アリーナ	1,320.00㎡ (40m×33m)	バレーボール2面, バスケットボール2面, バドミントン8面, ハンドボール1面, 卓球24台, レスリング2面, インドアテニス2面
	ステージ	192.00㎡	
	その他	1,495.52㎡	事務室, 貴賓室, ミティング室, 医務室, 器具庫(2), 選手控室(2), 電気室, 倉庫(2), 放送室, 操作室, 授乳室, 更衣室, 便所(3), 身障者便所(2), 売店, 切符売場 等
	1階計	3,007.52㎡	
2階	観覧席	1,287.02㎡	観覧席1,280席, 身障者席
	その他		機械室(2), 器具庫(2), 便所(2), 身障者便所
中3階	倉庫	224.13㎡	
3階	観覧席	281.35㎡	観覧席459席, 機械室(2)
その他		612.62㎡	機械室(別棟), エレベーター等, 器具庫

○研修室 340.00㎡

階	施設名	面積	内容
1階	会議室	170.00㎡	会議室(2)
2階	宿泊室	170.00㎡	宿泊室(2)

○補助体育館 486.72㎡

階	施設名	面積	内容
1階	競技場	344.22㎡	卓球5台, バドミントン1面
	体操ピット	130.00㎡	
	その他	12.50㎡	器具庫, 更衣室, 便所



鹿児島県総合体育センター体育館の利用状況

平成26年度から平成28年度までの鹿児島県総合体育センター体育館の利用状況をみると、年間約18万人が利用し、本館及び補助体育館の稼働率は90%程度となっている状況。

区 分		26年度	27年度	28年度
本 館	利用者数	130,164人	131,131人	123,213人
	稼働日数	314日	326日	324日
	稼働率	87%	90%	90%
研 修 室	利用者数	3,861人	3,655人	3,279人
	稼働日数	111日	122日	97日
	稼働率	30%	34%	27%
補助体育館	利用者数	46,161人	48,224人	48,463人
	稼働日数	325日	330日	331日
	稼働率	90%	90%	92%
利用者数合計		180,186人	183,906人	174,955人

鹿児島県総合体育センター体育館の課題

現在の鹿児島県総合体育センター体育館は、施設の老朽化が進んでいる現状にあるなど、次のような課題がある。

1 施設の老朽化

- ・ 現在、体育館は築56年を経過しており、老朽化が見られる。
- ・ 機能を維持するため、補修等が必要となっている。

※ 近年の主な補修

- H26：体育館床張替補修等（3,963千円）
- H27：体育館消火栓蓄電池取替（377千円）
体育館自動ドア補修（206千円）
- H28：体育館発電機室屋根補修（482千円）

2 施設の機能

- ・ バレーボール、バスケットボール等のコート数が少ないことや、観客席の収容人数が少ないことなど、全国大会、国際大会等の大規模な大会を開催するには、狭隘となっている。
- ・ 体操競技において、競技場の規格（助走の長さ等）が大会規定に適合していないなどの状況がみられる。

3 管理・運営

- ・ 倉庫が狭く器具の出し入れがしづらいため、準備に時間がかかる。
- ・ トイレの入口が男女で共通になっており、気になるという声が出ている。

平成元年度以降の主な改修工事等の状況

年 月	改修工事等
H 4. 5	空調設備設置
H 5. 1	本館床張替
H 6. 2	本館屋根及び地下倉庫防水工事
H 6.10	ボイラー改修及び選手控室空調設備設置
H 7. 3	自動ドア設置（1箇所）
H 8. 2	授乳室設置
H 9. 3	身体障害者施設設置工事（エレベーター設置，その他工事）
H 9. 3	外壁改修工事
H10. 2	中庭（駐車場）改修
H11. 5	補助体育館体操専用練習設備整備
H12.12	本館音響設備補修（アリーナメインスピーカー取替他）
H13. 3	補助体育館屋根塗装補修
H16. 1	研修室補修
H27. 3	本館床張替
H28. 2	自動ドア補修
H28. 3	消火栓エンジンポンプ用蓄電池取替
H29. 3	体育館発電機室屋根補修

県体育館



本館アリーナ



研修室



会議室（研修室内）



補助体育館



補助体育館内競技場



既設の総合体育館の基本理念と機能(役割)等の事例

(基本構想等, 専門紙の情報, 聞き取りなどを行い当室で整理)

施設名 (供用開始) 【所在地】	東京体育館 (H2, 4) 【東京都渋谷区】	いしかわ総合スポーツセンター (H20.4) 【金沢市】																
◇基本理念	◇東京都におけるスポーツ振興を図るための近代的かつ大規模な施設・設備を有する全般的総合体育施設	◇スポーツ振興の中核的拠点施設																
○機能(役割)等	○全般的総合体育施設としての特徴を生かした大規模大会の開催 ○多くの都民に継続的に運動に親しむ機会を提供 ○スポーツ・フォア・オールの実現(スポーツ振興に寄与する各種スポーツ事業の展開や健康体力相談, スポーツ関連情報の提供の場)	○大会運営の効率化を図るための「全県的大会の集中開催」機能 ○県民誰もが気軽に利用できる「生涯スポーツ振興」機能 ○多くの県民に夢や感動を与える「国際大会開催」機能 ○スポーツ指導者の資質向上を図るための「指導者の養成・研修」機能 (○スポーツ以外の各種イベントでの活用にも対応)																
利用形態 (平成28年度)	<table border="1"> <tr> <td>①: 国際・全国大会規模の大会</td> <td>・リオ大会ハレーアジア大陸予選 ・全日本卓球選手権 他</td> </tr> <tr> <td>②: スポーツ興行</td> <td>・V(ハレーボール)リーグ公式戦</td> </tr> <tr> <td>③: ①, ②以外での利用</td> <td>・各種競技大会 他</td> </tr> <tr> <td>④: スポーツ以外</td> <td>・小田和正, 吉川晃司 ライブ ・国立ポリシヨイサーカス 他</td> </tr> </table>	①: 国際・全国大会規模の大会	・リオ大会ハレーアジア大陸予選 ・全日本卓球選手権 他	②: スポーツ興行	・V(ハレーボール)リーグ公式戦	③: ①, ②以外での利用	・各種競技大会 他	④: スポーツ以外	・小田和正, 吉川晃司 ライブ ・国立ポリシヨイサーカス 他	<table border="1"> <tr> <td>①: 国際・全国大会規模の大会</td> <td>・全日本ハンドリング選手権大会 ・全国中学校ハンドボール大会 他</td> </tr> <tr> <td>②: スポーツ興行</td> <td>・V(ハレーボール)リーグ公式戦</td> </tr> <tr> <td>③: ①, ②以外での利用</td> <td>・各種競技大会 ・各種競技練習 他</td> </tr> <tr> <td>④: スポーツ以外</td> <td>・全国土地改良大会石川大会 ・金沢大学入学式 他</td> </tr> </table>	①: 国際・全国大会規模の大会	・全日本ハンドリング選手権大会 ・全国中学校ハンドボール大会 他	②: スポーツ興行	・V(ハレーボール)リーグ公式戦	③: ①, ②以外での利用	・各種競技大会 ・各種競技練習 他	④: スポーツ以外	・全国土地改良大会石川大会 ・金沢大学入学式 他
①: 国際・全国大会規模の大会	・リオ大会ハレーアジア大陸予選 ・全日本卓球選手権 他																	
②: スポーツ興行	・V(ハレーボール)リーグ公式戦																	
③: ①, ②以外での利用	・各種競技大会 他																	
④: スポーツ以外	・小田和正, 吉川晃司 ライブ ・国立ポリシヨイサーカス 他																	
①: 国際・全国大会規模の大会	・全日本ハンドリング選手権大会 ・全国中学校ハンドボール大会 他																	
②: スポーツ興行	・V(ハレーボール)リーグ公式戦																	
③: ①, ②以外での利用	・各種競技大会 ・各種競技練習 他																	
④: スポーツ以外	・全国土地改良大会石川大会 ・金沢大学入学式 他																	
施設名 (供用開始) 【所在地】	エコパアリーナ(静岡県小笠山総合運動公園内) (H13, 12) 【袋井市】	神戸ポートアイランドホール(ワールド記念ホール) (S59, 10) 【神戸市】																
◇基本理念	◇子供から高齢者までの幅広い年齢層の県民が, 健康スポーツやレクリエーションを行える県民の生涯スポーツの拠点施設 ◇平成15年に開催された国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会が開催できる競技施設	◇体育, 文化及び産業の振興並びに福祉の増進を図る施設																
○機能(役割)等	○幅広い年齢層の健康, スポーツ, レクリエーション活動の需要に対応し, かつ, 広域的な利用が図られる場 ○県民の増大するスポーツ需要に対応し, スポーツ振興の拠点となる場 ○全国大会及び国際大会を含めた, 多様なスポーツ交流の場 ○多彩な音楽・文化イベントなど多目的に対応できる場	○全国級, 国際級の大規模集客型のスポーツイベントや集会, 国際見本市, コンサートなどあらゆるイベントに対応し様々なエンターテインメントを楽しめる拠点となる場 ○神戸市内はもとより, 市外からも多くの人々を集客することにより神戸経済の発展に寄与																
利用形態 (平成28年度)	<table border="1"> <tr> <td>①: 国際・全国大会規模の大会</td> <td>・JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権</td> </tr> <tr> <td>②: スポーツ興行</td> <td>・F(フットサル)リーグ公式戦</td> </tr> <tr> <td>③: ①, ②以外での利用</td> <td>・各種競技大会 ・各種競技練習 他</td> </tr> <tr> <td>④: スポーツ以外</td> <td>・嵐, DREAMS COME TRUE, 浜崎あゆみ ライブ 他</td> </tr> </table>	①: 国際・全国大会規模の大会	・JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権	②: スポーツ興行	・F(フットサル)リーグ公式戦	③: ①, ②以外での利用	・各種競技大会 ・各種競技練習 他	④: スポーツ以外	・嵐, DREAMS COME TRUE, 浜崎あゆみ ライブ 他	<table border="1"> <tr> <td>①: 国際・全国大会規模の大会</td> <td>・全日本フォークダンス大会</td> </tr> <tr> <td>②: スポーツ興行</td> <td>・Fantasy on ice 2016 in KOBE</td> </tr> <tr> <td>③: ①, ②以外での利用</td> <td>・大学フットサルリーグ交流大会 ・U-13ミニサッカー交流大会 他</td> </tr> <tr> <td>④: スポーツ以外</td> <td>・SEKAI NO OWARI ライブ ・神戸コレクション2017 他</td> </tr> </table>	①: 国際・全国大会規模の大会	・全日本フォークダンス大会	②: スポーツ興行	・Fantasy on ice 2016 in KOBE	③: ①, ②以外での利用	・大学フットサルリーグ交流大会 ・U-13ミニサッカー交流大会 他	④: スポーツ以外	・SEKAI NO OWARI ライブ ・神戸コレクション2017 他
①: 国際・全国大会規模の大会	・JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権																	
②: スポーツ興行	・F(フットサル)リーグ公式戦																	
③: ①, ②以外での利用	・各種競技大会 ・各種競技練習 他																	
④: スポーツ以外	・嵐, DREAMS COME TRUE, 浜崎あゆみ ライブ 他																	
①: 国際・全国大会規模の大会	・全日本フォークダンス大会																	
②: スポーツ興行	・Fantasy on ice 2016 in KOBE																	
③: ①, ②以外での利用	・大学フットサルリーグ交流大会 ・U-13ミニサッカー交流大会 他																	
④: スポーツ以外	・SEKAI NO OWARI ライブ ・神戸コレクション2017 他																	

今後整備予定の総合体育館の基本理念と機能(役割)等の事例

(基本構想等, 専門紙の情報, 聞き取りなどを行い当室で整理)

施設名 (供用開始) 【所在地】	佐賀県立アリーナ(仮称) (H34年度:予定) 【佐賀市】	滋賀県立新体育館 (H34年度:予定) 【大津市】
◇基本理念	◇県民が、スポーツを「する」楽しみ、「観る」楽しみ、「支える」楽しみなど、それぞれのスタイルでスポーツを楽しむことができる施設 ◇本県ゆかりのアスリートが様々な競技で活躍を続けられるような「育てる」機能や、スポーツをしない人たちも楽しめるような「頼い・賑わい」空間を持つ施設	◇すべての県民がスポーツに参画し健康づくりに取り組むとともに、さまざまな交流や連携を通じて、元気で豊かな生活と滋養を創造する地域の拠点施設
○機能(役割)等	○年齢・性別・障害のあるなしに関係なくスポーツを楽しむことができる場 ○全国規模の大会、プロスポーツのような「観る」スポーツに対応 ○トップアスリートの合宿などに対応 ○競技力の向上を支援(アスリートの練習環境、指導者の育成など) ○コンサートなど、スポーツ以外での利用が可能	○競技スポーツだけでなく生涯スポーツや健康づくりの拠点 ○多機能、多目的な利用への対応 ○大学をはじめとする周辺施設・機関と連携した全県への機能発揮 ○すべての人に利用しやすく、交流できる場
施設名 (供用開始) 【所在地】	有明アリーナ (H31年度:予定) 【東京都江東区】	大分県屋内スポーツ施設 (H31年度:予定) 【大分市】
◇基本理念	【東京オリンピック、パラリンピック後利用の方向性】 ◇国際大会を含むスポーツ大会や各種イベントなどに利用できる新たなスポーツ・文化の拠点となる施設 〈東京オリンピック・パラリンピック会場として整備〉 ・オリンピック:バレーボール(インドア) ・パラリンピック:車いすバスケットボール(決勝)	◇大規模大会も開催可能な屋内スポーツ拠点施設 ◇県民誰もが気軽に利用できる施設 ◇トップリーグ公式戦や各国代表の合宿開催によるスポーツ観光の拠点施設 ◇大規模災害に備えた広域防災拠点の中核施設
○機能(役割)等	○国内外の主要な競技大会の会場として、質の高いスポーツ観戦機会等を提供するとともに、首都東京の魅力を生み出すスポーツの場 ○コンサート等の文化イベントの開催など、都民に夢と感動を与える機会を創出 ○魅力的なスポーツ実践の場として、サブアリーナや諸室等を活用し、都民が日常的にスポーツに親しめる環境を提供	○県民の生きがい、健康づくりを支援 ○スポーツツーリズム(スポーツを観に行くための旅行及びそれに伴う周辺観光や、スポーツを支える人々との交流など。)に活用 ○県民の命を守る防災拠点

	委員の意見など	意見の整理
第 1 回 (H 29 ・ 6 ・ 12)	<p>【主な議事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現県体育館の現状と課題(事務局説明) ○ 今後の検討項目について <p>【委員の主な意見】</p> <p>○ 県のスポーツ振興にとって、老朽化への対応は緊急の課題</p> <p>○ 総合体育館の議論は喫緊の課題</p> <p>○ 県民のスポーツ振興に寄与するような施設が必要</p> <p>○ 鹿児島が日本をリードするような目玉となるような施設を検討すべき</p> <p>○ スポーツを「する」「みる」ことにより、県民が感動したり、活力をもらえるような施設をできるだけ早期に整備してほしい。 など</p>	<p>◎ 総合体育館について、優先的に議論</p> <p>◎ 新しい総合体育館の必要性、機能について検討</p> <p>→ H30年2月頃までに提言をとりまとめ</p> <p>新しい総合体育館の整備は必要</p> <p>どのような役割・機能を持った施設が必要とされるか(基本的理念)</p> <p>視点・キーワードの整理</p>
第 2 回 (H 29 ・ 9 ・ 7)	<p>【主な議事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 現県体育館の利用の特徴等について(事務局説明) ○ 新しい総合体育館の必要性について <p>【委員の主な意見】</p> <p>【新しい総合体育館の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 新しい体育館の必要性には争いはないのでは。 ○ 老朽化等を踏まえ、現体育館に替わる施設を作る必要がある。 ○ 本県のスポーツの拠点として必要 ○ 観光の観点からも必要性は当然ある。 <p>【機能】 キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幅広い年代、全県的に県民が利用できる施設 ○ する、みる、ささえる、派生するビジネスを考えると多くの人が集まる施設 ○ 国際・全国大会に対応した施設(充実した観客席、放送など付随する施設) ○ プロスポーツが見れて、コンサート、イベントができる施設 ○ コンベンション機能等多目的利用の空間 ○ スポーツ文化の醸成・発信拠点 ○ スポーツ人材(マーケティング等)育成 ○ 障がい者、高齢者に対応したバリアフリー、障がい者スポーツへの対応 ○ 鹿児島の地理的特性を生かしたアジアも見据えた人々の賑わいの核となる施設 ○ 教育機関(大学)と連携 ○ 経済効果をしっかり得られる施設 ○ 交流人口の増に資する施設 ○ 既存の県内施設との役割分担 ○ メンテナンスコストを考慮した機能 など 	<p>1 本県スポーツ振興の拠点としての機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ スポーツを「する」視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 年齢・障がいの有無等に関係なく県民がスポーツに親しむ。 ・ 多様なスポーツ競技の開催が可能 ・ 全県的大会の集中開催など大会運営の効率化 ◆ スポーツを「みる」視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際レベル、全国レベルの競技大会の開催に対応 ・ プロスポーツの開催に対応 ◆ スポーツを「ささえる」視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツ文化の発信拠点 ・ スポーツ人材の育成(教育機関等との連携) <p>2 スポーツにとどまらない多目的利用による交流拠点としての機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 「多目的利用」の視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ コンサート、各種イベント等の開催に対応 ・ コンベンション機能 ・ 集客(多くの人が集まる)機能 <p>3 その他の視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 経済効果からの視点 施設利用自体の経済性、利用から発生するビジネス、メンテナンスコストなどに配慮 ◆ 県内の屋内スポーツ施設との役割分担 ◆ バリアフリー、ユニバーサルデザイン など <p>* それぞれのキーワードから考えると コンセプトは「アリーナ」ではないか</p>
第 3 回 (H 29 ・ 11 ・ 21)	<p>【主な議事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 総合体育館の機能について <p>【委員の主な意見】</p> <p>【機能】 キーワード</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツをみる楽しみ、参加する楽しみの場 ○ 収益性や稼働率を考えると多目的機能を備えた施設 ○ スポーツ文化の発信拠点としての機能 ○ 基本理念(運営方針)を検討することが大切 ○ 障がい者への十分な配慮 ○ 楽しく魅力的な空間であることが大切 ○ 鹿児島の財政や人口を考えるとコンパクトで機能的な施設 ○ コストセンターよりもプロフィットセンターとしての施設ではないか。 ○ 鹿児島にしかないオリジナリティを持った施設 ○ 県内施設等との役割分担・連携を図ることが大切 など 	<p>◎ 第4回で提言をとりまとめ</p>

東京体育館

全都的総合体育館としての特徴を活かした大規模大会を開催する施設の貸出及び多くの都民に継続的に運動に親しむ機会を提供する個人利用施設の公開、スポーツ関連情報の提供を実施し、スポーツ・フォア・オールの実現に資する施設

施設の概要

- 設置者：東京都
- 所在地：東京都渋谷区千駄ヶ谷
- 供用開始(全面改装)：平成2年4月
- 施設構成：メインアリーナ棟
(バスケ4面、観客席合計10,030席)、サブアリーナ棟、屋内プール棟
- 運営：(公財)東京都スポーツ文化事業団

利用状況

メインアリーナ(平成28年度)

1日の最大コマ数	利用可能コマ数	利用コマ数	稼働率	利用者数
3 (4時間単位1コマ)	1,031	1,028	99.7%	845,440人

サブアリーナ(平成28年度)

1日の最大コマ数	利用可能コマ数	利用コマ数	稼働率	利用者数
6 (4時間単位1コマ×2面)	2,050	2,032	99.1%	122,109人

メインアリーナ

平成28年度

スポーツ	利用
① 国際大会・全国大会規模での利用	リオデジャネイロオリンピックバレーボール最終予選兼アジア大陸予選大会(男女)、全日本空手選手権、春の高校バレー 他
② スポーツ興行(※入場料を徴収し開催)	Vプレミアリーグ開幕戦・ファイナル 他
③ その他	都民体育大会、学校運動会 他
④ スポーツ以外	小田和正、吉川晃司、国立ポリシヨイサーカス、マーチングバンドジャパンカップ、就職面接会 他

外観



機能・役割

- メイン** 国際級のスポーツイベントの会場として機能を十二分に発揮できるよう、コンピューターによる集中制御の音声システム、全館空調システム、大型電光表示装置、大型映像装置などの設備を備えている。フロアは木製。観客席は固定席、車椅子席、仮設席の合計で10,030席。
- サブ** 各種のスポーツ競技の練習や主催事業に利用されているほか、大規模なスポーツイベントには大会を支える補助機能施設としても利用。
- その他** 大規模なスポーツイベントやコンサートを円滑に運営するため、特別室、記者室、役員室等を備え、また、大・中・小の会議室やトレーニングルームなどの付帯施設も設置。

有明アリーナ

東京の新たなスポーツ・文化の拠点(東京2020大会後のレガシー)

- ◇ 国際大会など質の高いスポーツ観戦機会の提供によるスポーツムーブメントの創出
- ◇ コンサート等のイベント開催による東京の新たな文化発信拠点

施設の概要

- 設置者：東京都
- 所在地：東京都江東区有明
- 竣工日：平成31年12月(予定)
- 施設構成：メインアリーナ
(バレーボールがコート4面で競技可能な規模、観客席15,000席(仮設席を含む))、サブアリーナ、交流広場 等

外観イメージ図



メインアリーナイメージ図



東京大会での実施競技

- ★オリンピック
バレーボール
- ★パラリンピック
車いすバスケットボール

東京大会後の利用の視点

- ① アスリートファースト
 - ・ アスリートの活躍の場となる、国内外の大規模大会の会場
目標：年間10大会開催【国際大会、プロリーグ、全日本選手権等】
- ② 都民ファースト
 - ・ コンサートや文化イベントなど、魅力的なエンターテインメントを提供
 - ・ 身近なスポーツ実践の場として、都民がスポーツに親しめる場を提供

機能・役割

- メイン** コンサートやその他各種イベント・ショーに対応可能なコンクリート床を設置し、観客席は1万5千席(仮設席を含む)。また、一定期間、仮設の木製床を設置し、大規模スポーツ大会開催や各種競技大会のスポーツ利用を促進。
- サブ** 都民のスポーツ実践の場としても活用し、スポーツを普及。
- その他** 隣接する有明親水海浜公園と連携して、都民の健康づくりやにぎわい創出の空間を提供。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会が定める『Tokyo2020アクセシビリティ・ガイドライン』の基準を満たし、障がいの有無に関わらず、すべての人々にとって利用しやすい施設の実現。

エコアリーナ

○子供から高齢者までの幅広い年齢層の県民が健康スポーツやレクリエーションを行える県民の生涯スポーツの拠点施設
 ○平成15年に開催された国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会が開催できる競技施設

施設の概要	○設置者:静岡県 ○所在地:静岡県袋井市愛野 ○供用開始:平成13年12月 ○施設構成:メインアリーナ (バスケット4面, 観客席6,344席), サブアリーナ ○運営:静岡県サッカー協会グループ エコハウス	利用状況	【メインアリーナ】		
			H28年度	H27年度	
		利用者数	99,583 人	106,383 人	
		稼働日数	286 日	294 日	
		稼働率	82 %	85 %	

メインアリーナ 利用形態	平成28年度	スポーツ	① 国際大会・全国大会規模での利用	JOCジュニアオリンピックカップ全国エアロビクス選手権	外観
			② スポーツ興行(※入場料を徴収し開催)	F(フットサル)リーグ公式戦	
			③ その他	各種競技大会, 各種競技練習 他	
			④ スポーツ以外	嵐, DREAMS COME TRUE, 浜崎あゆみ 他	



機能・役割


- 幅広い年齢層の健康, スポーツ, レクリエーション活動の需要に対応し, かつ, 広域的な利用が図られる場
- 県民の増大するスポーツ需要に対応し, スポーツ振興の拠点となる場
- 全国大会及び国際大会を含めた, 多様なスポーツ交流の場
- 多彩な音楽・文化イベントなど多目的に対応できる場

いしかわ総合スポーツセンター

○スポーツ振興の中核的拠点施設

施設の概要	○設置者:石川県 ○所在地:石川県金沢市稚日野町北 ○供用開始:平成20年4月 ○施設構成:メインアリーナ (バスケット4面, 観客席5,019席), サブアリーナ, 屋内プール, トレーニングルーム ○運営:石川県体育協会グループ	利用状況	【メインアリーナ】		
			H28年度	H27年度	
		利用者数	486,168 人	486,221 人	
		稼働日数	359 日	360 日	
		稼働率	100 %	100 %	

メインアリーナ 利用形態	平成28年度	スポーツ	① 国際大会・全国大会規模での利用	全日本バントフライング選手権大会, 全国中学校ハンドボール大会	外観
			② スポーツ興行(※入場料を徴収し開催)	Vリーグ(バレーボール)公式戦	
			③ その他	各種競技大会, 各種競技練習 他	
			④ スポーツ以外	全国土地改良大会石川大会, 金沢大学入学式 他	




機能・役割

- 大会運営の効率化を図るための「全県的大会の集中開催」機能
- 県民誰もが気軽に利用できる「生涯スポーツ振興」機能
- 多くの県民に夢や感動を与える「国際大会開催」機能
- スポーツ指導者の資質向上を図るための「指導者の養成・研修」機能
- スポーツ以外の各種イベントでの活用にも対応

青い森アリーナ(マエダアリーナ)

各種スポーツの国際大会、全国大会が開催可能な第1級のスポーツ施設の整備と、「スポーツ科学センター」を核として県民の健康増進やレクリエーション活動が日常的にできる施設の整備を通じて県民の豊かで潤いのあるスポーツライフの拠点(運動公園全体コンセプト)



施設の概要	○設置者:青森県 ○所在地:青森市大字宮田字高瀬 ○供用開始:平成15年1月 ○施設構成:メインアリーナ(バスケット3面, 観客席5,348席), サブアリーナ, スポーツ科学センター, 合宿所等 ○運営:スポーツ青い森グループ	利用状況	【メインアリーナ】	
			H28年度	
			利用者数	294,275 人
			稼働日数	350 日
			稼働率	100 %

メインアリーナ 利用形態	平成28年度	スポーツ	① 国際大会・全国大会規模での利用	-	外観 
			② スポーツ興行(※入場料を徴収し開催)	Bリーグ公式戦, プロレス	
			③ その他	各種競技大会 等	
			④ スポーツ以外	記念式典講演会	
			④ スポーツ以外	記念式典講演会	

機能・役割	○見ることによる新たなスポーツ感動との出会い ○することによる競技力の向上 ○楽しむことによるリフレッシュの発見 ○知ることによる新たなスポーツ体験との出会い ○豊かな自然環境の中でのレクリエーション空間の創出 ○アメニティあふれる人にやさしい公共空間の整備
--------------	--

アオーレ長岡

○市民と行政, 市民と市民, 行政と経済界をつなぐ協働・交流の拠点
 ○「アリーナ」, 「ナカドマ」, 「市役所」が一体となった複合施設。市民活動の「ハレ」の場として, 皆が頼り集う『市民交流の拠点』

施設の概要	○設置者:長岡市 ○所在地:新潟県長岡市大手通 ○供用開始:平成24年4月 ○施設構成:アリーナ(バスケット3面, 観客席3,566席), 市民交流ホール, シアター, ナカドマ(屋根付き広場), 市役所, 議場 等 ○運営:市民交流ネットワーク「アオーレ」及び長岡市	施設の様子	
			 

メインアリーナ 利用形態	これまでの実績	スポーツ	① 国際大会・全国大会規模での利用	女子バスケット日本代表強化試合(VSオーストラリア)
			② スポーツ興行	プロレス, ドリームオンアイス, Bリーグ公式戦, Vプレミアリーグ
			③ その他	各種競技大会, その他市民向けスポーツイベント 他
			④ スポーツ以外	ポリシヨイサーカス, 24時間テレビ, 音楽祭(沢田知加子, 稲垣潤一, 岡本真夜ほか), ライトトーク(かりゆし58&前園真聖), 大学入試説明会 他
			④ スポーツ以外	ポリシヨイサーカス, 24時間テレビ, 音楽祭(沢田知加子, 稲垣潤一, 岡本真夜ほか), ライトトーク(かりゆし58&前園真聖), 大学入試説明会 他

機能・役割	コンサートから各種スポーツ, 大規模な展示会や講演会まで, 幅広い用途に応えることが可能。最大5,000人収容し, 多用途に対応したエンターテインメントスペース。
--------------	---

ゼビオアリーナ仙台

○スポーツの持つ夢や魅力を最大限に伝える場として、また震災復興のシンボルとして、スポーツ施設としての枠組みを超えた感動共有スペース
 ○スポーツイベントはもちろん、音楽イベントやコンベンション、地域イベントなど多彩な活用が可能な総合エンターテインメントアリーナ

施設の概要

- 設 置: ゼビオ社
- 所 在 地: 宮城県仙台市太白区あすと長町
- 開 館: 平成24年10月
- 施設構成: 多目的アリーナ(観客席4,009席), テナント 等
屋内型スポーツパーク(テニス・バスケット・フットサル)
- 管理運営: ゼビオアリーナ有限責任事業組合

施設の様子



メインアリーナ

これまでの興業実績	スポーツ	① 国際大会・全国大会規模での利用	FIBA WORLD TOUR FINAL, バスケットボール女子日本代表国際親善試合2014, 日韓V.LEAGUE TOP MATCH
		② スポーツ興行	仙台89ers(bjリーグ), 仙台ベルフィーユ(Vチャレンジリーグ), ヴォスクオーレ仙台(Fリーグ), bjリーグ ALL STAR GAME
		③ その他	楽天野球団シーズンシートオーナー感謝祭, 羽生結弦凱旋公演, FIFAサッカーブラジルワールドカップ パブリックビューイング ほか
		④ スポーツ以外	長瀬剛, 松田聖子, GACKT, 浜崎あゆみ ほか

ゼビオアリーナ仙台公表資料から作成

機能・役割

- 最大約6,000人を収容可能
- スポーツイベントや音楽イベント, コンベンション, 地域イベントなど多彩な活用が可能
- バスケットボールを利用形態のメインとして整備
- アリーナ中央天井に4面ビジョン, 観客席に場内を1周するリボンビジョン, 高品質の音響施設が整備され, 映像と音で会場を一体化する, 新たな演出が可能
- 床面はコンクリートであり, スポーツイベント時は木製フロアを配置

ドーム球場について

1 公設のドーム球場(公益財団法人 日本体育施設協会 施設一覧等から)

- (1) 施設(所有者)
- ①札幌ドーム(札幌市), ②札幌コミュニティドーム(札幌市),
 ③シェルコムせんだい(仙台市), ④大館樹海ドーム(秋田県),
 ⑤こまつドーム(小松市), ⑥滋賀県立長浜ドーム(滋賀県),
 ⑦但馬ドーム(兵庫県), ⑧岡山ドーム(岡山市),
 ⑨出雲ドーム(出雲市)
- (2) 管理・運営
 全ての施設: 指定管理者
- (3) 利用形態
 札幌ドーム(①): プロ野球・Jリーグ公式戦, コンサート, イベント 等
 その他の施設(②~⑨): 軟式野球, サッカー, テニス, イベント 等

2 プロ野球公式戦が開催されるドーム球場

- (1) 施設(所有者)
- ①札幌ドーム(札幌市), ②西武ドーム(西武鉄道株),
 ③東京ドーム(株東京ドーム), ④ナゴヤドーム(株ナゴヤドーム),
 ⑤大阪ドーム(オリックスグループ),
 ⑥福岡ドーム(福岡ソフトバンクホークス株)
- (2) 管理・運営
 全ての施設: 民間(札幌ドームは指定管理)

※ プロ野球一軍公式戦開催実績(平成28年度)

- 地方開催は37試合, このうち観客席数が最も少ない野球場は,
1万5千席(呉市二河野球場)
- 上記1の公設ドーム(札幌ドーム除く)での開催実績なし

鹿児島県立鴨池野球場の概要

第27回国民体育大会(昭和47年太陽国体)のための施設(陸上競技場, 野球場, 庭球場, 補助競技場)を建設することとし, 昭和45年12月に野球場が完成。

1 施設概要

所在地	鹿児島市与次郎二丁目2番2号
建設費	260,000千円
面積	24,059㎡
グラウンド面積	12,964.6㎡(両翼98m, 中堅122m)
建物面積	18,713.12㎡
収容人員	21,000人(内野15,500人, 外野5,500人)
構造	鉄筋コンクリート2階建て
施設構成	1階:事務室, 管理人室, 記者室, 放送室, 記録室, 役員室(2室), 審判員室, 警備員室, 予備室 等 2階:貴賓室, 報道ブース 《その他》:屋外ピッチング場(685.12㎡), 夜間照明(鉄塔6基)
主な沿革	昭和53年6月:夜間照明施設完成 昭和54年6月:スタンド拡張工事 平成6年2月:電光スコアボード完成 平成9年1月:スタンド改修 平成9年12月:内外野改修 平成26年3月:記者室棟, ロッカールーム棟増築 平成28年4月:スタンド改修(防水, 外壁)

2 利用状況

平成27年度			平成28年度		
利用日数	利用件数	利用人数(人)	利用日数	利用件数	利用人数(人)
193	249	177,445	200	264	171,515

3 現在の整備状況







2020年「燃ゆる感動かごしま国体」に向けて, グラウンドの工事を実施中。今後, スコアボード等を改修予定。

ドーム球場について

1 公設施設

番号	名称 (所在地)	供用開始	所有／運営	利用形態	建設費
				フランチャイズ	収容人数
1	札幌ドーム (北海道札幌市)	平成13年	札幌市／ (株)札幌ドーム	プロ野球公式戦 Jリーグ公式戦 コンサート イベント コンベンション 等	約422億円
				日本ハムファイターズ コンサドーレ札幌	プロ野球時 約42,000人 イベント時 約54,000人
2	大館樹海ドーム (秋田県大館市)	平成9年	秋田県／ 大館市文教振興財団	硬式・軟式野球 サッカー、テニス コンサート イベント 等	約82億円
				なし	観客席 5,040人 イベント時 15,000人
3	全但バス但馬ドーム (兵庫県豊岡市)	平成10年	兵庫県／県勤労福祉協会・ 全但バス株式会社 他	軟式野球 サッカー、テニス コンサート イベント 等	約60億円
				なし	可動式席 1,196席 イベント時 9,700人

2 民設施設

1	東京ドーム (東京都文京区)	平成63年	(株)東京ドーム／ (株)東京ドーム	プロ野球公式戦 コンサート イベント コンベンション 等	約350億円
				読売ジャイアンツ	プロ野球時 約46,000人 イベント時 約55,000人
2	福岡ヤフオク!ドーム (福岡県福岡市)	平成5年	福岡ソフトバンクホークス／ 福岡ソフトバンクホークス	プロ野球公式戦 コンサート イベント コンベンション 等	約760億円 (土地代を含む)
				福岡ソフトバンクホークス	プロ野球時 約38,500人

【具体例：札幌ドーム(平成28年度実績)】

- ①売上高：41億43百万円，経常利益：2億87百万円
- ②イベント開催日数：134日，イベント来場者数：299万人
- ③主なイベント：日本ハムファイターズ戦，コンサドーレ札幌戦，冬季アジア札幌大会，コンサート 等